

2022年6月29日

各位

株式会社 大垣共立銀行
株式会社 OKB 総研

泉大津市との「包括連携に関する協定」の締結

大垣共立銀行（頭取 境 敏幸）とOKB総研（社長 青木 義実）は本日、大阪府泉大津市（市長 南出 賢一）と「包括連携に関する協定」を下記の通り締結しました。

OKB大垣共立銀行グループはこれまで、食品関連企業に対する販路開拓や地域資源を活用した商品開発のサポート、農林漁業者が自ら加工・販売に取り組む「6次産業化」の岐阜県相談窓口や有機農業を行うOKB農場（※）への運営参画など、食と農に関するさまざまな課題解決に向けて取り組んできました。泉大津市は、オーガニック給食の導入など「食」を通じたさらなる市民の健康増進や有事の際の食糧確保などを目的に、食と農の分野に知見や強みを持つ地域や団体との連携を推進しています。

本協定により、OKB大垣共立銀行およびOKB総研は、両社が持つ知見やネットワークを活用して食と農の分野を中心に泉大津市の住民や企業にソリューションを提供するとともに、広域連携を活かしたサプライチェーン構築や交流促進などにより両地域の活性化や交流人口の拡大に貢献していきます。

OKBグループはこれからも、地方創生への取り組みに積極的に参画し、地域の活性化に寄与してまいります。

（※）OKB大垣共立銀行は2015年9月、土里夢ファームが大垣市南部で運営する約1ヘクタール（現在は約2ヘクタール）の農場の命名権を取得し、OKB農場と命名しました。OKB総研職員による運営指導などにより、グループ一体となって積極的にOKB農場の運営に参画しています

記

■協定概要

名 称	泉大津市、株式会社大垣共立銀行及び株式会社OKB総研による包括連携に関する協定
締 結 日	2022年6月29日（水）
締 結 者	OKB大垣共立銀行、OKB総研、泉大津市
目 的	地方創生およびSDGsの実現に向け、それぞれの地域の特色を活かした連携強化を図ることで、社会課題の解決に寄与する取り組みを創出し、地域経済の活性化および地域社会の発展を推進する
連 携 内 容	1）食に関すること 2）地域産業の活性化に関すること 3）交流人口の拡大に関すること 4）SDGs教育の推進に関すること 5）市民の健康増進に関すること 6）脱炭素社会の実現に向けた取り組みに関すること など



以上

別紙

■大阪府泉大津市の概要

位 置	大阪府の南部に位置し、北部・東部は高石市と和泉市、南部は大津川を境として泉北郡忠岡町と隣接し、西北部は大阪湾に面する
面 積	13.73平方キロメートル（令和3年6月24日付告示） うち約4.80平方キロメートルが公有水面の埋立地
人 口	73,429人（2022年6月1日現在）
特 徴	・市内企業従業員数：第1次産業0.1％、第2次産業27.9％、第3次産業72.0％ ・繊維工業の歴史が古く、特に毛布の国内生産量は約90％を占めており、全国シェアNo.1を誇る ・堺泉北臨海工業地帯を支える国際拠点港湾・堺泉北港を有する

■OKB大垣共立銀行およびOKB総研の「食」と「農」の分野における主な実績

	内 容	時 期
O K B 大垣共立銀行	ビジネス・サミットの開催	2007年～
	地方銀行フードセレクションの開催	2008年～
	「木曽三川流域『食』個別商談会」の開催	2011年～
	OKBアグリビジネス助成金の創設	2014年～
	「OKB美濃・飛騨うまいもの 首都圏進出挑戦商談会 with 伊藤忠食品」の開催	2019年～
	食品加工事業者向け「FOOD トレード“アシスト”パッケージ」の開催	2021年
	OKB大垣共立銀行×中部電力ミライズ共同企画“食に関する商談会”の開催	2021年～
O K B 総 研	岐阜県6次産業化サポートセンター（現：岐阜県農山漁村発イノベーションサポートセンター）の運営	2011年～
	OKB農場（㈱土里夢ファーム）の運営への参画	2015年～
	OKB農林研究所の創設	2016年
	㈱土里夢ファームによる加工施設の整備支援	2019年
	㈱土里夢ファームによる地域産品ショップ「OKB八百屋 本店」の開店支援	2020年
	大垣市委託事業「草木等資源化推進事業」の㈱土里夢ファームでの事業受託支援	2021年度～

以 上